



マイクロソフト × カリフォルニア州立工科大学

コロナ下における働き方改革 今、あなたが知るべきDXのありかたとその進め方

May 12, 2021
Microsoft Corp.
Senior Director
Jimmy Onishi



Self Introduction

Myself:

Japanese, born and raised in Osaka, Japan. Currently living in Los Angeles

Married life over 25 years, have one daughter

Visited over 50 countries for over 30 years



May '21 in Nara, Japan

Career :

Started in Chambers of Commerce and Industry as new grad, changed job a few times when I was 20's
Supporting Global Enterprise customers in the world for developing their network infrastructure

Philosophy :

1. Life is once: what is my life?

My answer: Global Talent

2. I want to be a good supporter, a good listener who can understand your pain but how?

My answer: Volunteer in my spare time

3. I want to be an innovative person but how?

My answer: English to extend experience, IT to utilize Live, Play, Work, and Learn

- コロナ禍における新しい働き方への課題対応・DXが進む中、それに関連した変化やリスク等につき連日報道されています
- 報道内容を参考にニューノーマル働き方への課題整理・対応計画に役立ててください

ニューノーマル働き方に向けての課題

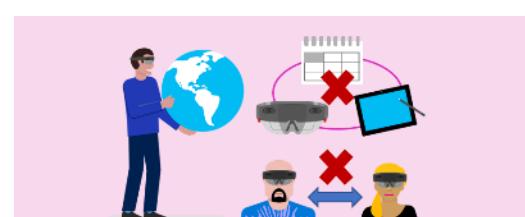
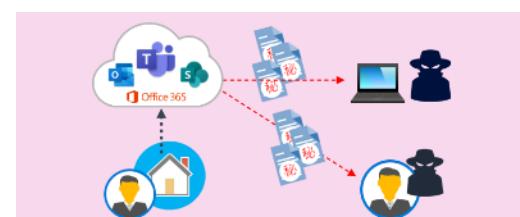
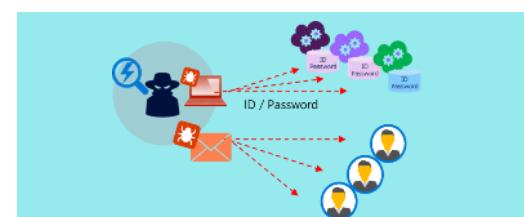
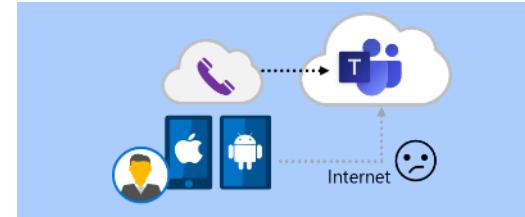
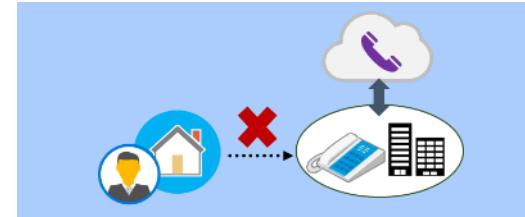


本資料：関連時事ニュース



ニューノーマルな働き方に向けて課題は解決済みでしょうか？

- リモートワークを中心に課題解決済みのお客様、課題解決に向けて変革を実施中のお客様がいらっしゃいます。



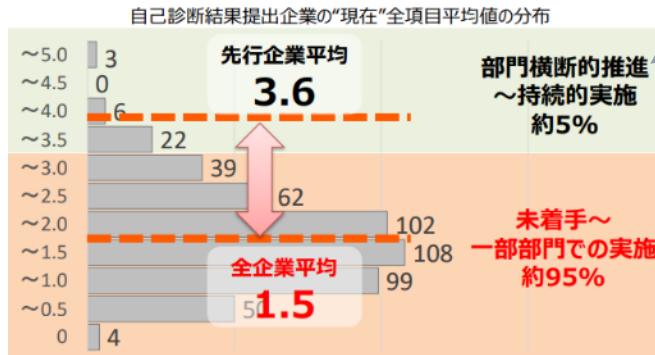
ニューノーマルな働き方 注目ニュース



経済産業省 DXレポート

DXの取り組み度合いは低い

・DX推進指標の自己診断に取り組み、結果を提出した企業の中でも「95%の企業はDXに全く取り組んでいないか、取り組み始めた段階であり、全社的な危機感の共有や意識改革のような段階に至っていない」



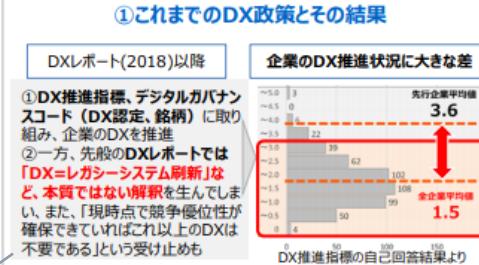
②コロナ禍で明らかになったDXの本質

コロナ禍で見られた事象
①事業環境の変化に迅速に適応できた企業と、そうでない企業の差が開いている
②押印、客先常駐、対面販売など、これまでは疑問を持たなかった企业文化（業務・慣習）が変革の阻害要因に→先送りしてきた課題がコロナ禍により一気に表出

コロナ禍で明らかになったこと
「素早く」変革「し続ける」能力を身に付けること、その中ではITシステムのみならず企业文化（固定観念）を変革することの必要性が明らかに(DXの要)
DXは、ITシステム更新の問題から企业文化刷新の問題へ

DX加速シナリオ

DXレポート2のサマリー (DX加速シナリオ)



②コロナ禍で明らかになったDXの本質

コロナ禍で見られた事象
①事業環境の変化に迅速に適応できた企業と、そうでない企業の差が開いている
②押印、客先常駐、対面販売など、これまでは疑問を持たなかった企业文化（業務・慣習）が変革の阻害要因に→先送りしてきた課題がコロナ禍により一気に表出

コロナ禍で明らかになったこと
「素早く」変革「し続ける」能力を身に付けること、その中ではITシステムのみならず企业文化（固定観念）を変革することの必要性が明らかに(DXの要)
DXは、ITシステム更新の問題から企业文化刷新の問題へ

③コロナ禍により高まるDXの緊急性

デジタルの浸透
DXの緊急性

顧客の変化に対応するにはデジタルは必須、ビジネスを今変化させなければ、デジタル競争の敗者となる。企業の変革を推進するパートナーとなるため、これまで企業のITシステム構築を担当してきたベンダー企業も変革が必要。

全体の9割以上

DX未着手企業
DXについて知らない

DX途上企業
DXを進めたが、散発的な実施に留まっている

DXの認知・理解

DX事例集の提供
知見を集める場の提供

製品・サービス活用による事業継続・DXのファーストステップ

ツール導入に対する支援
直ちに（超短期）取り組むアクション

目指すデジタル社会の姿

- ・社会課題の解決や新たな価値、体験の提供が迅速になされ、安心・安全な社会が実現
- ・デジタルを活用してグローバルで活躍する競争力の高い企業や、カーボンニュートラルをはじめとした世界の持続的発展に貢献する産業が生まれる



デジタル企業

デジタルガバナンス・コード/DX路線

企業内に事業変革の体制が整い、環境の変化に迅速に対応できる

産業変革のさらなる加速

ユーザー企業とベンダー企業の連携
研究開発に対する支援
デジタル技術を活用する変革の支援

デジタルプラットフォームの形成

共通プラットフォーム推進
デジタルアーキテクチャ推進

DX人材の確保

スキル・流動化環境の整備

中長期的対応

事業変革の環境整備
デジタル社会基盤の形成
人材変革
産業変革の制度的支援

経済産業省 DXレポート

コロナ禍を契機に取り組むべきアクション

企業のアクションと政策

業務環境のオンライン化

- ・テレワークシステムによる執務環境のリモートワーク対応
- ・オンライン会議システムによる社内外とのコミュニケーションのオンライン化

従業員の安全・健康管理のデジタル化

- ・活動量計等を用いた現場作業員の安全・健康管理
- ・人流の可視化による安心・安全かつ効率的な労働環境の整備
- ・パルス調査ツールを用いた従業員の不調・異常の早期発見

業務プロセスのデジタル化

- ・OCR製品を用いた紙書類の電子化
- ・クラウドストレージを用いたペーパレス化
- ・営業活動のデジタル化
- ・各種SaaSを用いた業務のデジタル化
- ・RPAを用いた定型業務の自動化
- ・オンラインバンキングツールの導入

顧客接点のデジタル化

- ・電子商取引プラットフォームによるECサイトの開設
- ・チャットボットなどによる電話応対業務の自動化・オンライン化

DXレポート2のサマリー（企業のアクションと政策）

直ちに（超短期）

～コロナ禍の事業継続を通じたDXのファーストステップ～

製品・サービス活用による 事業継続・DXのファーストステップ

- 事業継続を可能とする最も迅速な対処策として市販製品・サービスを導入（業務のオンライン化、業務プロセスのデジタル化、顧客設定のデジタル化、従業員の安全・健康管理のデジタル化）
- 製品導入の成功を、「経営トップのリーダーシップにより企業文化を変革する小さな成功体験」とし、変化を受容し歓迎する組織文化への転換の起点とする
- ✓ 中小企業のデジタル化推進施策の普及展開
- ✓ ツール導入に対する支援

DXの認知・理解

- DXレポート、DX推進指標とそのガイダンス、デジタルガバナンス・コード等を参照しDXについて認知し理解を深める
- ✓ DXに関する好事例の提供
- ✓ DXに係る知見を集める場の提供

短期

～本格的なDXを進めるための体制整備とDXの実践～

DX推進体制の整備

- DXを担う関係者（経営層、事業部門、IT部門）の間での共通理解の形成（目的、自社のDX戦略、進め方）
- DXの推進体制の要諦となる経営層（CIO/CDXO）によるガバナンスの確立
- 多様な人材とのコラボレーションにより、外部環境の変化やイノベーションを自社に取り込む「窓」としてのリモートワークインフラ整備
- ✓ 関係者間での対話の前提となる情報の提供により、DXに取り組み始める企業の体制整備を支援（ポイント集の策定）
- ✓ DXをけん引する経営層の役割明確化により、推進体制整備を支援（CIO/CDXOの役割再定義）

DX戦略の策定

- コロナ禍による環境変化を踏まえ、業務プロセスをデジタル前提・顧客起点で見直し
- ✓ DXの具体的な取組領域、パターン化された成功事例提供により、企業のDX戦略立案を支援（DX成功パターンの策定）
- ✓ デジタルガバナンス・コード業種別リファレンスケース、DX認定の普及（業種別、中小企業向け制度拡充）

DX推進状況の把握

- DX推進指標等を用いたDX推進状況の定期的把握
- ✓ DX推進指標の普及・展開、企業内システムの状況把握のための評価指標とシステム変革の手引書策定（DX推進指標等、レガシー刷新の推進）

中長期

～デジタル企業へ“迅速に変わりづける能力”的獲得～

産業変革のさらなる加速

- 環境変化を把握し、迅速に製品・サービスを市場に提示しつつ検証し続けるための内製アジャイル開発体制の確立
- DXを対等な立場で支援できるベンダー企業とのパートナーシップ構築（+ベンダー企業の変革）
- ✓ 受託開発とは決別し、ユーザー企業のDXを支援・伴走してけん引する新たなベンダー企業への転換の加速（ユーザー企業とベンダー企業の共創の推進）
- ✓ DX投資促進税制、中小企業向けDX推進指標の策定、DX認定企業向け金融支援
- ✓ 高付加価値な製品・サービスにより競争力を維持する企業への転換の加速（研究開発税制）
- ✓ 情報システム・モデル取引・契約書の活用推進

デジタルプラットフォームの形成

- 協調領域の形成により投資を削減、生み出した投資余力を競争領域に配分していく投資余力循環の確立
- ✓ 企業間での協調領域形成、プラットフォーム化を行う際の関係者間での利害調整の支援とノウハウ化により、プラットフォームを構築する事業者・業界を支援（共通プラットフォーム推進）
- ✓ 事業者間や社会全体でのデータやITシステムの連携を容易にするための、全体会員取り扱いである「アーキテクチャ」の設計、およびアーキテクチャ設計の専門家育成（デジタルアーキテクチャ推進）

DX人材の確保

- 社外を含め多様な人材が参画する時代を見据えたジョブ型人事制度の拡大の検討
- 変革を主導・けん引する人材をユーザー企業内に確保。専門性を評価する仕組みや、リカレント学習の仕組みの整備
- ✓ DX人材の企業間での相互融通や、社外との協業を通じたスキル向上など、人が会社を動くという形以外も含めた人材の流动性確保
- ✓ 人材のスキルの見える化やマッチングを可能とする仕組み等の検討により、恒常的なスキルのアップデート（リスク）が推進される環境の整備

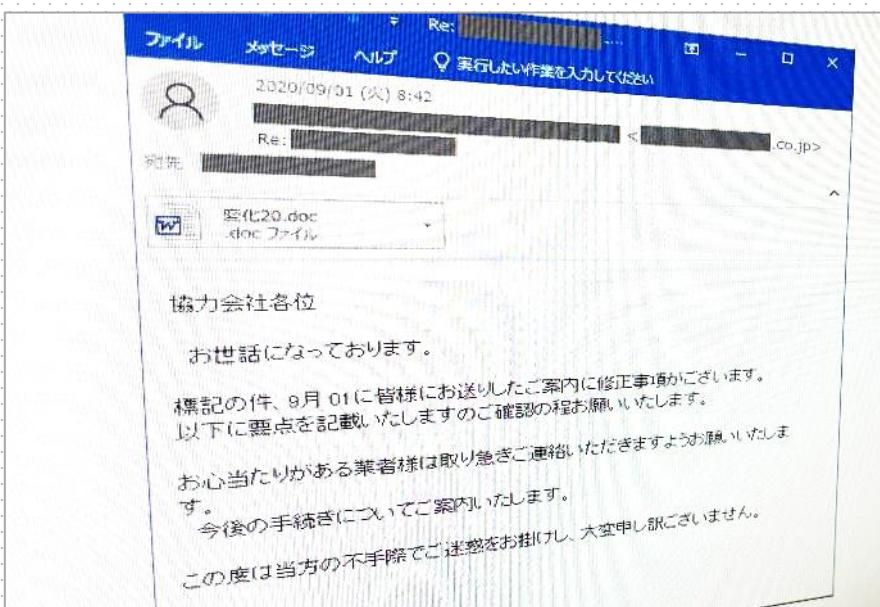
(凡例)

求められる変革

- 企業のアクション
- ✓ 政府の政策



サイバー攻撃：フィッシング・ID盗難・未知ウィルス



フィッシングID盗難・不正アクセス

政府機関・大手電機メーカー等、非常に多くの企業がターゲットに

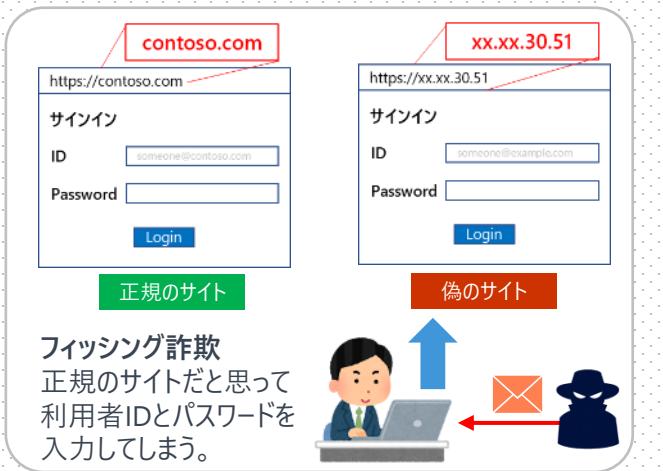
取引先からのメールを装ったフィッシング

金融機関（銀行やクレジットカード会社）などを装った電子メールを送り、メール中のURLやファイルにアクセスさせることでID盗難や、未知のウイルスに感染させ住所、氏名、銀行口座番号、クレジットカード番号などの個人情報を詐取する。

政府機関・電機メーカー等、多くの企業が組織内システム侵入を受けた。

攻撃の種類

- 標的型フィッシング詐欺
- ブルートフォース攻撃/パスワードスプレー
- 未知ウィルス（添付ファイル/URLリンク）
- 脆弱性への攻撃



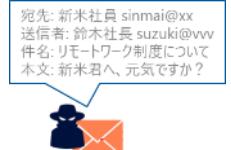
対策：ゼロトラストセキュリティ

未知のウイルス対策・フィッシングメール対策・不正IDアクセス対策といった複数のレイヤーに対してリスクがある=ゼロトラスト、という考えのもと各々セキュリティ対策を実施する。

メール・チャット 未知ウイルス対策



メール・チャット フィッシング詐欺対策



ID多要素認証 IDふるまい検知



エンドポイント ふるまい検知



サイバー攻撃：ランサムウェア攻撃



ランサムウェア攻撃による被害増

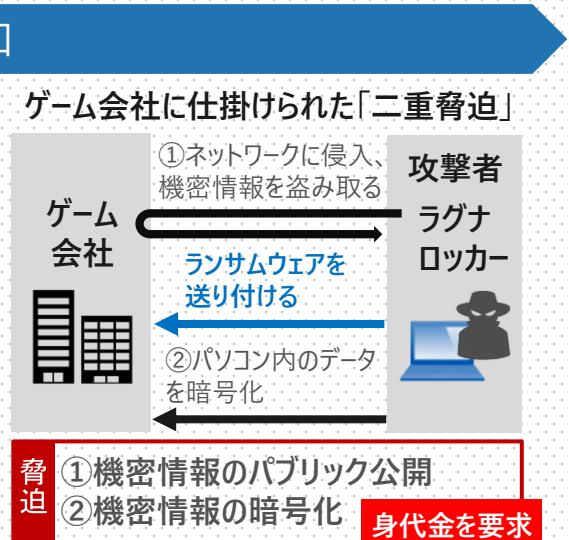
大手ゲーム会社等 脅迫され莫大な身代金を要求される

ランサムウェア攻撃とは

ランサムウェアとは、パソコン等の端末やサーバ上のデータを暗号化して使用不可にし、それらを復旧することと引き換えに身代金を支払うように促す脅迫メッセージを表示するウイルスの総称。明確に標的を企業・組織に定め、身代金を支払わざるを得ないような状況を作り出す。

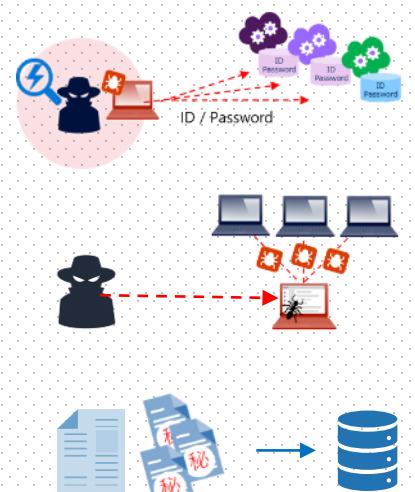
新たなランサムウェア攻撃の手口

- **人手によるランサムウェア攻撃**
ウイルスを機械的にばらまく手口と異なり、攻撃者が様々な手段で企業を攻撃する。
- **二重の脅迫**
ランサムウェアにより暗号化したデータを復旧するための身代金の要求に加え、暗号化する前データを公開すると脅迫する。



対策：ゼロトラストセキュリティ&データバックアップ

- **企業・組織の侵入対策**
ID盗難・フィッシング詐欺・脆弱性攻撃に対する対策
- **エンドポイント防御**
被害の早急な検知、エンドポイントを踏み台にした2次被害の防止
- **データバックアップおよび監査ログ管理**
クラウドストレージを用いた自動バックアップ & バージョン管理、監査ログ監視



意図的・偶発的な情報漏洩



組織内・外からの情報漏洩

外部攻撃から、退職者から、うっかり操作からの情報漏洩が多発

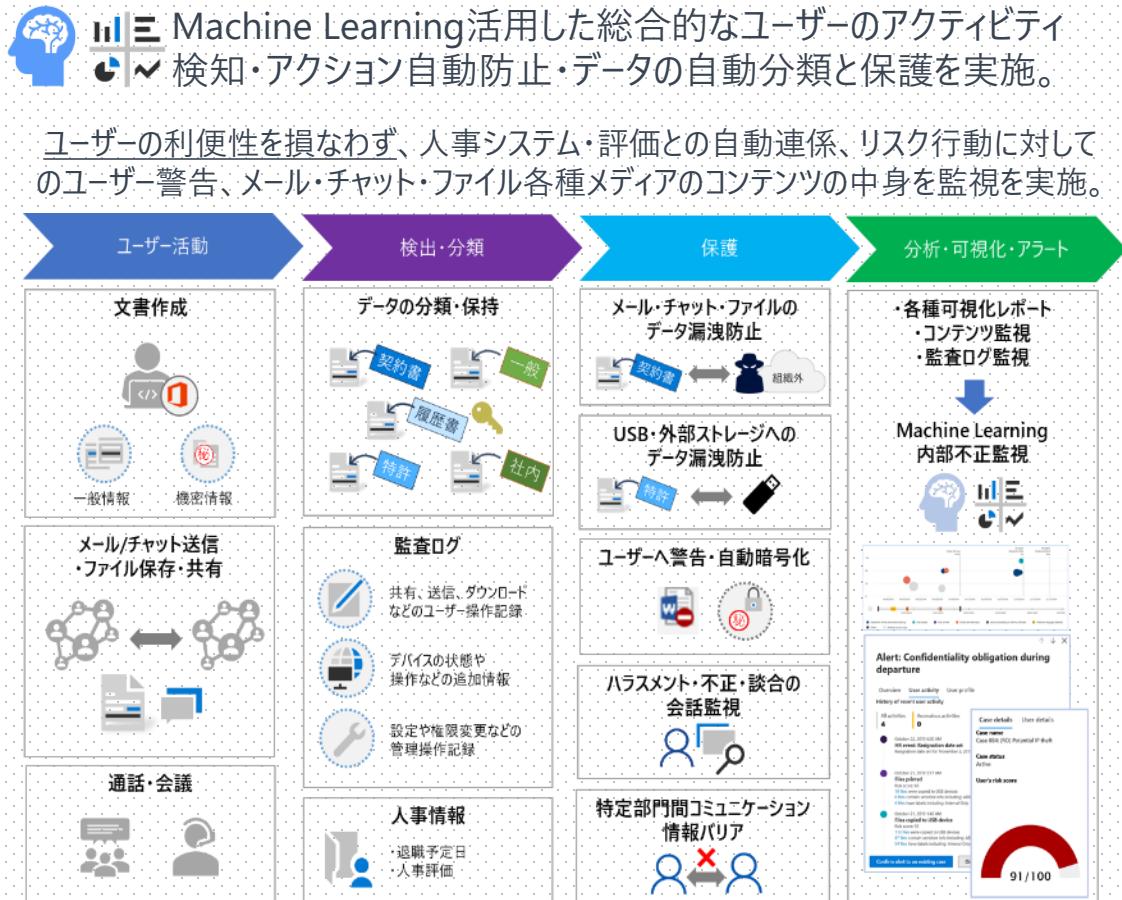
外部攻撃から流出・退職者の情報持ち出し・うっかり流出

- 政府自治体・大手電機メーカー・ゲーム会社
サイバー攻撃による組織内システム侵入後のファイル閲覧・漏洩
- 通信キャリアの退職者予定者がサーバーに不正アクセス後、
個人管理メールへ営業秘密情報を送信、その後競合会社への転職。
- 地方自治体社員のメール誤送信やファイル共有設定の放置

例：退職予定者が営業秘密情報を個人メール・USB・クラウドストレージにコピーして情報を持ち出してしまうケース。



対策：統合的なコンプライアンス管理



参考：通信キャリア元社員逮捕、情報漏洩か（朝日新聞デジタル）

ZIPメール廃止



ZIPメールの廃止

通称「PPAP」を内閣府と内閣官房で11月26日に廃止する

意味がないどころか、害悪のほうが大きい

平井卓也デジタル改革担当大臣は2020年11月24日の記者会見で、暗号化ZIPファイルをメールで送付した後に別のメールでパスワードを追送する手順、通称「PPAP」を内閣府と内閣官房で11月26日に廃止すると発表した。PPAP語源は「Password付きzipファイルを送ります、Passwordを送ります、An号化、Protocol。

ZIPメールの問題点

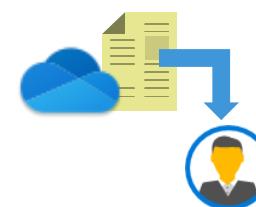
- メールサーバー側でウイルス検知できない
- マルウェア攻撃に悪用される
- パスワード付きZIPファイルの暗号強度は弱くない
- メールアドレスを間違って送信しても自動的にパスワードも送ってしまう
- 受信者の作業負荷が高い



代替手段：クラウド共有・暗号化・漏洩防止の導入

ZIPメールを廃止し、ゼロトラストセキュリティに加え、問題点をカバーするファイル共有および自動ファイルセキュリティ/リスク検知を展開する。

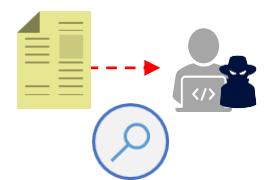
クラウドストレージ経由のファイル共有



ファイル自動分類・暗号化



ファイル送信・共有のふるまい検知



パワハラ防止法とハラスメントリスク



リモートワークのハラスメントリスク

職場・学校内・リモートワーク中のメール・チャットのハラスメントが問題

パワハラ防止法案とコロナ禍のハラスメント

「労働施策総合推進法（パワハラ防止法）」の改正によって、2020年6月より大企業を皮切りに、パワーハラスメント（パワハラ）の防止対策を講じることが義務となった。

リモートワーク中のセクハラ・パワハラ会話といったリモハラ、コロナ禍で過度な差別を受けるコロナハラスメントについても話題となる。

パワハラ防止法と企業がとるべきアクション

「第8章 職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関する事業主の講ずべき措置等」が新たに追加され、

「事業主は、職場において行われる優越的な関係を背景とした言動であつて、業務上必要かつ相当な範囲を超えたものによりその雇用する労働者の就業環境が害されることのないよう、当該労働者からの相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備その他の雇用管理上必要な措置を講じなければならない」と定義。



防止のために講ずべき措置とIT活用

ハラスメント抑制だけでなく、談合や不正会計といった内部リスク低減および証跡管理を目的に、総合的な社内SNS内のやりとりにつき、ITインフラを活用して多角的な対応を実施する企業が増えている。

相談窓口設置・
相談手段の確保



社員への教育・
Web・Video活用



社内SNS
ログ・注意・監視



予防措置・
事後フォロー



PC市場が世界的活況 供給に懸念



PC市場が世界的活況 半導体不足も

2020年の世界出荷台数 前年比13%増- 米IDC調査

パソコン市場の活況が鮮明に

2020 1月、調査会社の米IDCは、「Worldwide Quarterly Personal Computing Device Tracker」(国際的なPC市場の四半期調査)の速報結果では2020年の世界出荷台数(速報値)は前年比13%増の3億260万台。新型コロナウイルスの影響で広がった在宅勤務や遠隔学習により、6年ぶりに3億台を上回った。

半導体不足でPC供給に懸念

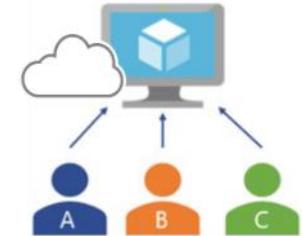
在宅勤務、巣ごもり需要でPC・ゲーム機等向けの半導体需要が高まり、世界的な半導体不足になっており、**PC供給ができない懸念**も出ている。

コロナ禍で求められるPC

Windows 10対応と合わせて**全従業員・非正規従業員**に対して業務に合わせたりモートワーク対応のモバイルPCを配布する動きが活発化。**半導体不足**になっても供給にすぐ対応できる**モデル**も重要になる。



“モバイル”できる高性能PC



Windows Virtual Desktop



ドック接続でデュアルディスプレイに



高性能カメラ・マイク・スピーカー

非接触型業務アプリケーション



非接触型業務アプリケーション

最低限のコストで非接触型・自動ワークフローをタイムリーに構築

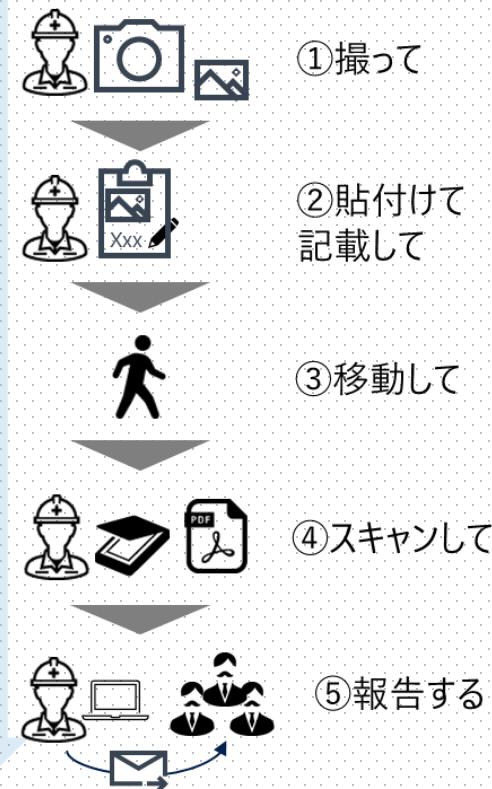
非接触型 + 電子化 + AI自動化 + コスト削減がキー

非接触型業務を組織内・お客様対応に取り入れる一方で、**業務ワークフロー**の非接触型・電子化・自動化を実現しコスト削減を行うDX: Digital Transformationを実現する企業が増えている。コーディング知識がない社員がDXを実現する環境を導し、“Resiliency: レジリエンシー”を高める。

ノンコーディング開発によるDX例

リテール・運輸・公共・教育・金融・製造・電機・ゲーム・建設・ヘルスケアなど多種多様なインダストリ毎に非接触型アプリケーションによるDX:Digital Transformationを実現する。

よくある報告業務



非接触型DX例



- 非対面・ペーパレス・により非接触型業務を実現
- 煩わしい手間を省く自動化ワークフロー
- ロード開発でクイックに業務アプリを企画・リリース

脱ハンコ・電子申請/報告ワークフロー・ペーパーレス



脱ハンコ・ペーパーレス・デジタル化

河野行革担当大臣は各自治体の改革方針を示す

行政のデジタル化加速/ペーパーレス化に取り組む意向

河野行革担当大臣は行政手続きにおける押印廃止をサポートするためのマニュアルを作成し、各自治体に配布する考えを示した。
「自治体のなかでは、すでに押印を廃止しているところがある。1700の自治体向けに役所・役場の業務でいかに押印廃止をすることができるかというマニュアルの策定をやってもらいたい」

よくある脱ハンコ・電子ワークフロー化の例

- 点検記録を紙に記入
- 内容の承認・許可
- 紙の集計&分析



Before

記入

受理
入力

集計

周知

会議



After

トリガー
アプリ
入力



アクション
確認・受理



Yes
No

自動アクション例

- メール・チャット通知
- デジタル台帳記録
- 進捗・傾向データ分析
- タスク作成・完了
- 文書チェックイン・アウト

企業のデータ活用本格化

NEWS HIGHLIGHTS

注目ニュース

 ビジネスアプリ

連日 報道中

注目度

★★★



コロナ禍でデータドリブン経営本格化

目標・プロセス・分析・評価をデータ化、顧客データの活用が進む

企業データ活用本格化の背景

コロナ禍における各企業の事業計画・目標値の修正が活発化に始まり
部門間の顧客・売上分析データ統合や、リモートワーク環境でも可視化可能な業務プロセス・進捗度合いのデジタル化・数値連動した成果主義の
人事評価導入など、企業のデータ活用で今後の事業環境の変化に耐えうる“Resiliency: レジリエンシー”を高めようとする企業が増えている。

データドリブン経営の着手例

Resiliencyをもった企業体質にするためのデータ活用DXが進む。



● ビジネスプロセスのDX

- ・営業進捗（プロセス）の数値化
- ・予算達成状況のリアルタイム共有
- ・紙業務の電子化とスピードアップ
- ・ワークフローの電子化



● 新しい人事評価

リモートワークの社員の業務管理・評価を公正にし、労働時間でなく数値化した目標値に対する成果ベースの評価に切りかえる。



● データ活用によるビジネス

- ・顧客データの電子化
- ・顧客データ分析による営業施策
- ・コスト分析による的確な人員配置



● 意識改革プラットフォーム

- ・社員がすばやく必要なデータ・人・情報にたどり着けるプラットフォーム
- ・社員の意識を変えるための場所

テレワーク恒久化・定着に課題



突貫リモートワーク環境 課題あり

社内外会議/情報共有・社員総会・コールセンタ等インフラ整備

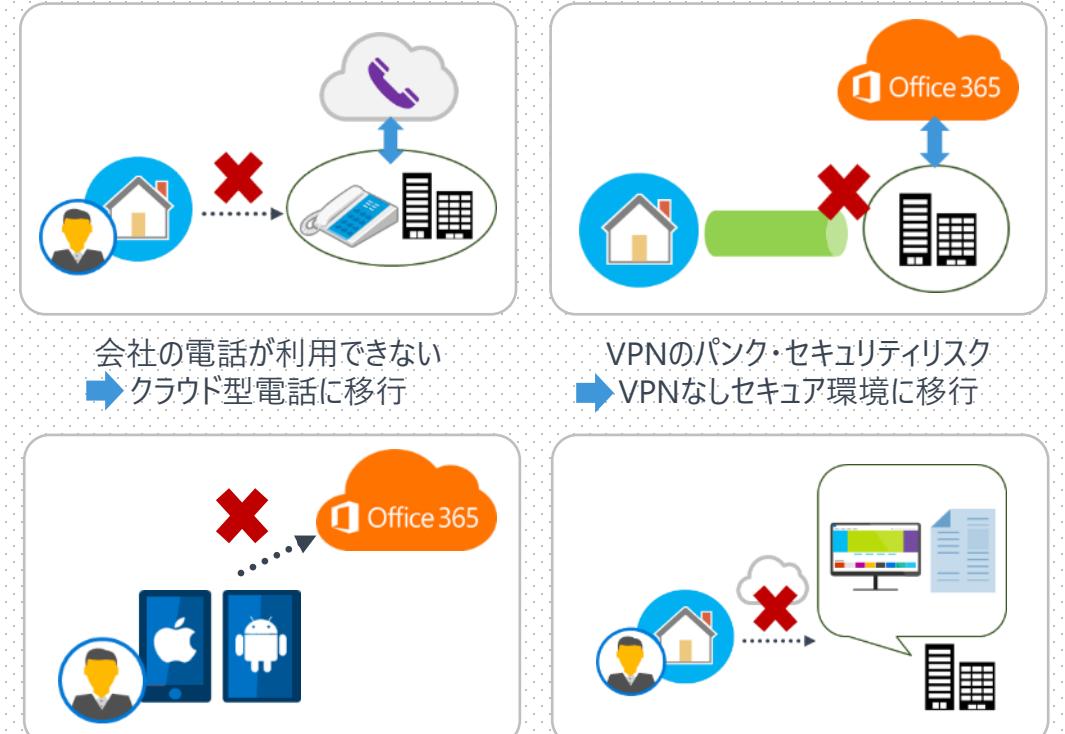
リモートワーク突貫整備から恒久的な改革へ

2020年4月緊急事態宣言を受けてリモートワーク環境整備が各企業で急速に実施されたものの、普段の業務がリモートで100%実施できる環境、恒久的かつ効率よい環境ではない課題が浮き彫りになっている。

- ・派遣社員はリモートワーク環境がない
- ・コールセンタ労働者からの出社拒否・クラスター感染リスクの訴え

コミュニケーションのインフラに関しよくある相談項目

「リモートワーク環境が整っている」と思はずであるも、業種・担当部署によって、フルリモートワークに対応できない業務・役職・役割が存在する。使い勝手/業務の効率化およびセキュリティの両方の確保が必要。またITリテラシー向上のための啓蒙活動の教育の整備も重要になる。



オフィス移転・集約



本社移転・オフィス空室率増加

リモートワーク定着によるオフィスコスト削減・通勤時間効率化が進む

空室率上昇・オフィス移転・削減、ワーケーション

- ・東京ビジネス地区（千代田、中央、港、新宿、渋谷）の2020年11月のオフィスビルの平均『空室率』は4.33%と、9カ月連続の上昇
- ・大手人材派遣会社の地方への本社移転
- ・大手の運輸、たばこ、広告、エンターテイメント会社らの本社ビル売却
- ・多くの自治体・観光業によるワーケーション普及活動の活発化

オフィスで提供されるモノ、
オフィスでできること、
をクラウド化

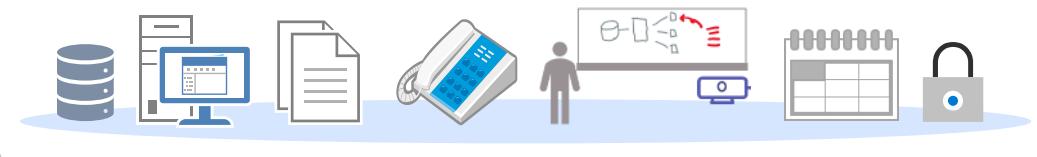
- いつでも・どこでも・
ビジネスの持続性UP
- 共通プラットフォーム化



オフィス削減・移転とDX & コスト削減

クラウドソリューションをベースとしてDX: Digital Transformationを実現しながら、オフィス削減・移転によるコスト削減を実現する。

- ・ファニチャー（デスク・チェア）
- ・白板・ホワイトボード
- ・行先掲示板/予定表
- ・オフィス入退セキュリティ
- ・オンプレ文書サーバー
- ・オンプレWebサーバー
- ・オンプレ業務アプリケーションサーバー
- ・ビデオ会議システム
- ・Web会議
- ・業務アプリケーション
- ・PBX（外線・固定電話）
- ・ノートPC
- ・業務書類
- ・単純ルーティング業務



ITコスト削減



ITコスト削減 重複排除・DX推進

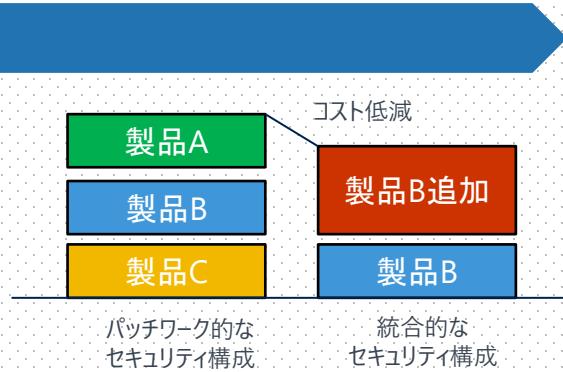
多くの企業でコロナ禍を乗り切るコスト削減&DX推進

重複ソリューションの削減・DXによる工数の効率化がキー

大手企業中心に様々な角度でのコスト削減検討・実行が進む。
「**使用頻度が減ったサービス・機器費用を見直している**」
「**重複した機能を持つシステムの必要を見直している**」
「**これまで目につけていなかった費用を含むコスト削減に取り組み始めた**」
など

重複の例

- セキュリティ製品が重複
- コンプライアンス製品が重複
- Web会議ソリューションの重複
- VPN/VDIソリューションが重複
- 人の役割・業務が重複
- 作業プロセスが重複



無駄の例

- オフィスでしか使えない開発環境
- オフィスでしか使えない“固定”された固定電話・PHS
- リモートからアクセスできない社内サーバー・業務アプリケーション
- パフォーマンスが弱い社内サーバー
- 参照しない書類と保管スペース
- リモートワーク中の通勤費支給



非効率作業の例

- 人の工数を割いた単純な作業
- オフィスのデスクトップPCへのログインからの作業
- ZIPファイルのメール送信
- 取次電話業務
- VPNアクセス集中による低回線スピード
- コールセンタ・ヘルプデスク対応のための出社
- 紙の承認作業・申請作業のための出社



東日本大震災から10年 コロナ禍の今 ~2021年3月11日~

NEWS
HIGHLIGHTS

注目ニュース



BCP対策

2021
3/11

注目度

★★★



コロナ禍 東日本大震災から10年

自然災害・新型ウイルスを通して変わるBCP対策と働き方

コロナ禍と大震災から考えるBCP対策と働き方

今年の3月11日で東日本大震災からちょうど10年になる。

コロナ禍の今、企業に求められる回復力（レジリエンシー: Resiliency）やBCP対応は、大きな社会・物理的・心理的な変化に対応するという点で東日本大震災からの学びと共通するものがある。

ニューノーマルな働き方・企業の在り方を考えさせられる節目の年となる。

クラウドサービスによる期待と成熟度

企業の大災害対応とコロナ禍対応の共通課題の多くはクラウドサービスによって大きくリスク低減することが可能。

ただし、企業によって変革の度合い・ノウハウの蓄積度合いが異なっている。

求められる姿：

- 物理的アクセスの制限回避
- 物理資産からデジタル資産へ
- 場所への依存回避
- エネルギー・リソースの冗長性
- 多種多様な人の時間・状況への柔軟性
- 自動的な対処・迅速な判断
- 高度なセキュリティ



今こそ知見の共有「Transform Ourselves」

クラウドソリューション提供者には多くの知見がこの10年で蓄積されている。マイクロソフトは10年を振り返り、日本での災害支援活動から得たノウハウや知見を企業や地方自治体、行政機関に活用頂けるように「Transform Ourselvesプロジェクト」を提供予定。

お問合せはセキュアリモート相談窓口まで。

セキュアリモートワーク相談窓口
電話相談: 0120-167-400
受付時間: 月曜日 - 金曜日 9:00 - 17:30 (土日祝日、弊社休業日を除く)
電話が込み合っている場合は、以下のチャットよりご相談ください。

ニューノーマルな働き方 ご提案・ご支援



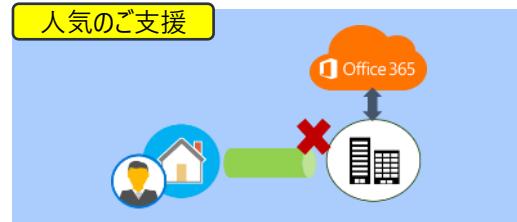
時事ニュースまとめ & 支援

-  サイバー攻撃：フィッシング・ID盗難・未知ウイルス
-  サイバー攻撃：ランサムウェア攻撃
-  意図的・偶発的な情報漏洩
-  ZIPメール廃止
-  パワハラ防止法とハラスマントリスク
-  非接触型業務アプリケーション
-  脱ハンコ・電子申請/報告ワークフロー・ペーパーレス
-  企業のデータ活用本格化
-  テレワーク恒久化・定着に課題
-  PC市場が世界的活況 供給に懸念
-  オフィス削減・移転
-  ITコスト削減

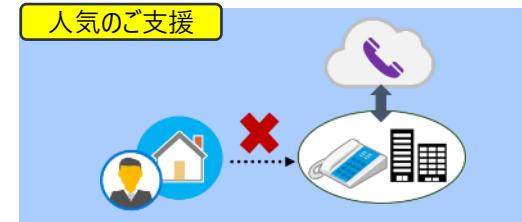


ニューノーマルな働き方に向けてMicrosoftからのご支援のご案内

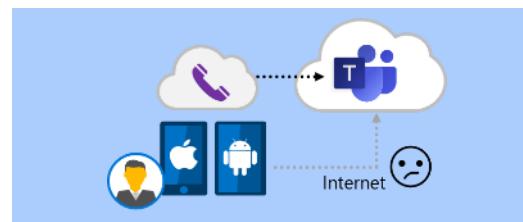
- ニューノーマルの働き方の実現に向けて各種ご支援プログラム・御相談を受け付けております



①VPN・社給PCが足りない
M365を利用したセキュアアクセスの解説



②企業外線電話が使えない
UniTalk特別無償利用キャンペーン



③電話から会議に参加できない
電話会議オプションのPoC相談会



④電子申請/承認フローがない
今すぐ使えるサンプルアプリ、アイデアソン



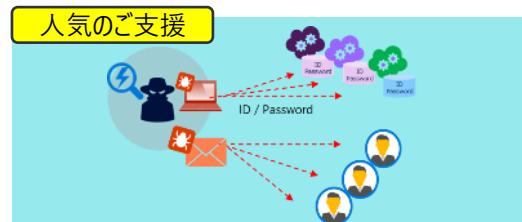
⑤リモートワーク・働き方状況が未把握
各種可視化テンプレート・解説資料ご案内



⑥オンプレ文書・基幹システム接続不可
WVD・Azure AD App ProxyのPoC相談会



⑦シャドーIT・ハラスメント会話が未対策
シャドーIT・ハラスメント可視化アセスメント



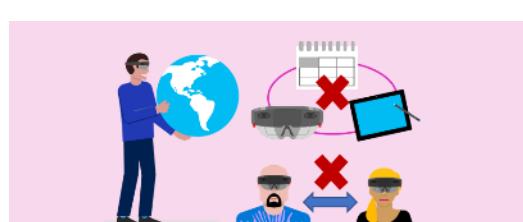
⑧不正認証・未知ウイルスが未対策
脅威可視化アセスメント



⑨機密情報漏洩が未対策
コンプライアンスアセスメント



⑩通話・会議録音ができない
録音アプリケーションPoC相談会



⑪現場従業員ツールが足りない
モバイル業務の改革のPoC相談会



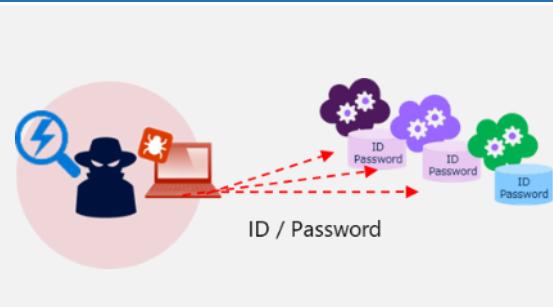
⑫ビデオ会議機器が足りない
Room Systemご評価（設置）支援

Note: 特典・キャンペーン・ご支援特典内容は都度変更される可能性があります。

サイバー攻撃・情報漏洩対策ワークショップ

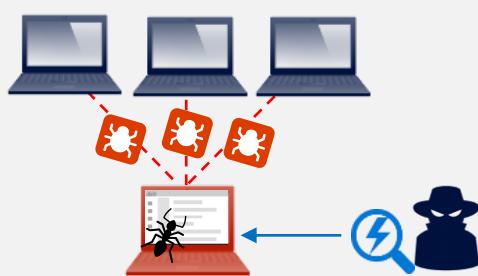
サイバー攻撃/ランサムウェア攻撃対策・ZIPメール廃止にむけて

不正認証アクセス が対策できていない



- 多要素認証未使用
- セキュアなパスワード不採用
- ID漏洩・不正サインイン放置
- ゲストや特権アカウントの未レビュー

エンドポイント防御 が対策できていない



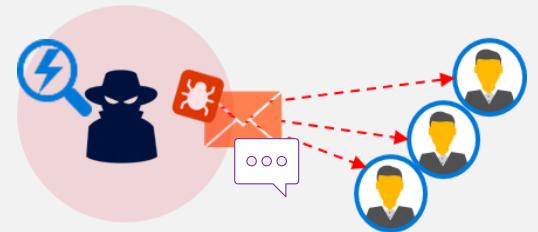
- アンチウイルス未導入
- PCの振る舞い検知未導入
=未知ウイルス感染時の二次災害未対策
- MDM/MAM未導入

詐欺メール が対策できていない



- ビジネス詐欺メール未対策
- 社員抜き打ち検査未実施
- 特定社員狙い撃ち状況の未把握

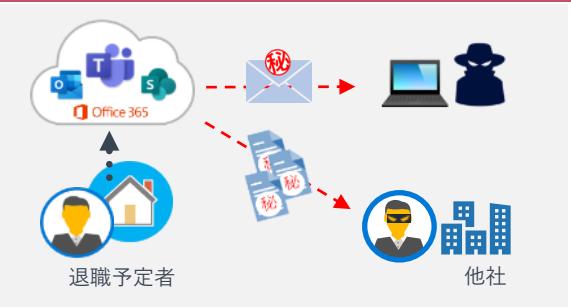
未知ウイルス が対策できていない



- 未知のウイルスは未対策
- URLリンク検証未実施
- Teamsチャット・ファイルアクセス時対策なし

偶発的・退職者等による意図的な情報漏洩対策にむけて

内部不正による情報漏洩 が対策できていない



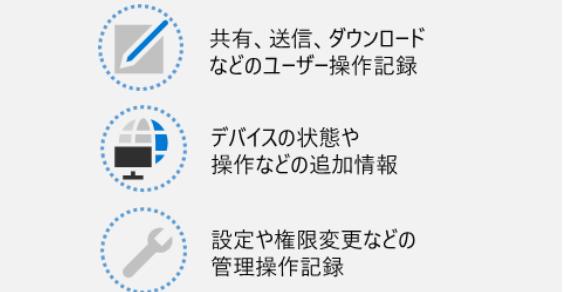
- 営業秘密の個人メールへの転送未対策
- 退職者の退職前ファイルダウンロード未監査
- 不自然なファイル操作のユーザーの自動監査未導入

外部ストレージから情報漏洩 が対策できていない



- 機密情報のUSB・クラウドストレージへのコピー未監査
- ファイルコンテンツを判断しての自動警告・防止アクション未実施

監査ログの管理 が対策できていない



- ユーザーの操作や特権ユーザーの操作や操作したファイルコンテンツの未保持
- 自動ふるまい検知の未導入

機密情報の保護 が対策できていない



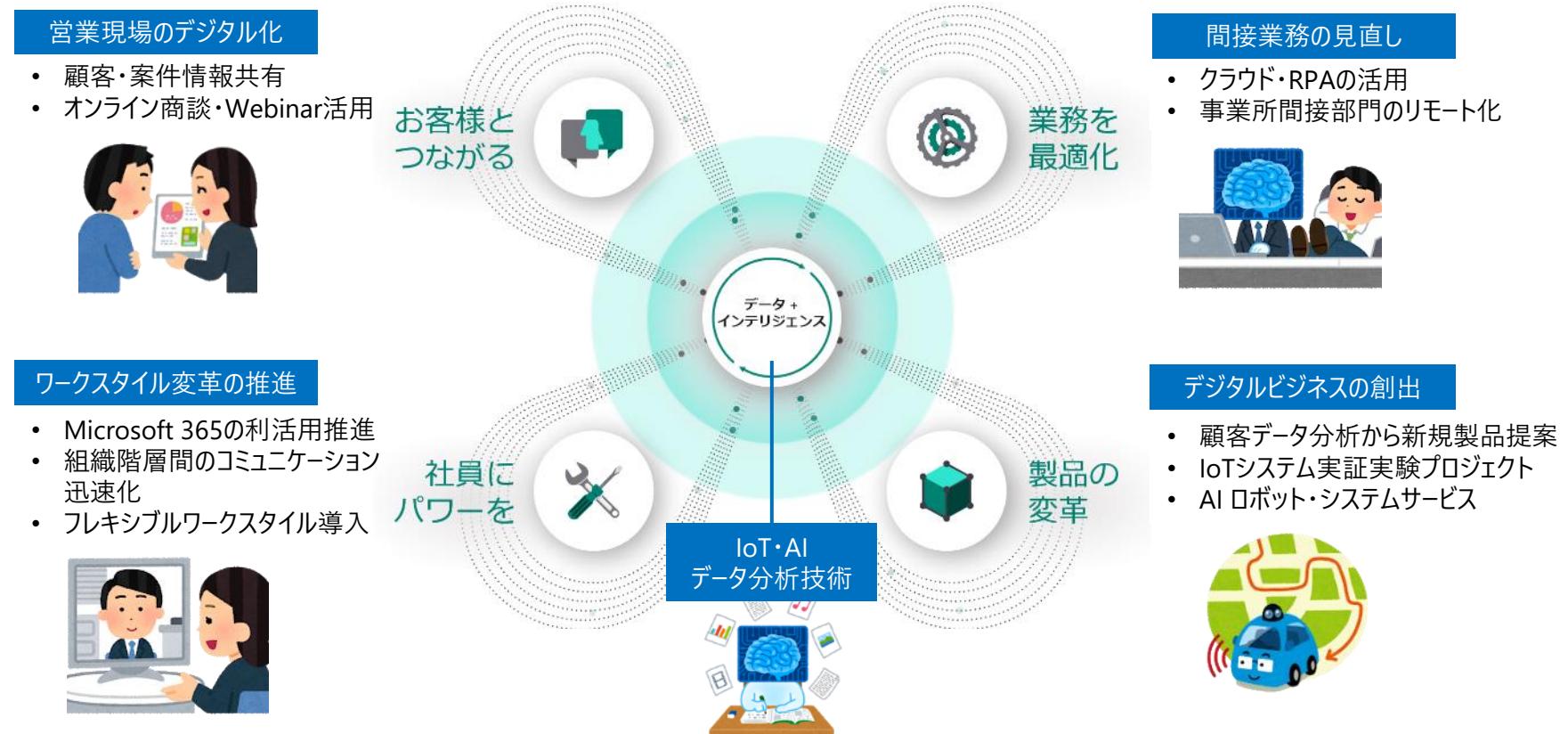
- 個人情報・顧客データ・契約書・特許データ等のデータの未分類・未暗号化
- 古く利用しないデータの放置

データドリブン経営ワークショップ

データを活用したビジネス戦略

- 企業の複数事業部で分断されている顧客データ、マーケティングデータ、販売実績データなどありませんか？
企業全体のデータ活用の最適化をしてみませんか？
- データを活用したビジネス戦略、全体・部分最適、短期・中長期のプランをたててみませんか？

「デジタルフィードバックループ」



こんな方にお勧め

- ・データ活用・DX進めた
いが、どこから手を付
ければいいかわからない
- ・キーメンバーの課題認識
がない、合わない



- ・データ活用メリット・
事例を知りたい



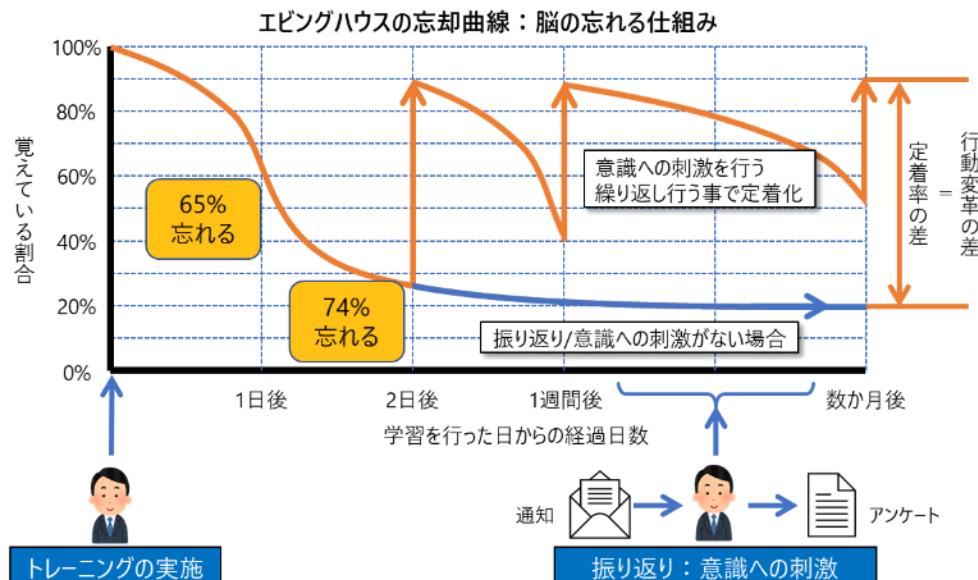
企業意識改革ワークショップ

企業は社員の様々な意識改革を求められる時代

- “課題”への認知度の低さが改善・改革の妨げとなる
- 企業変革にはIT変革だけでなく“人の意識変革”が重要



しかし、単発的な意識付けは、時間と共に問題意識は風化する…



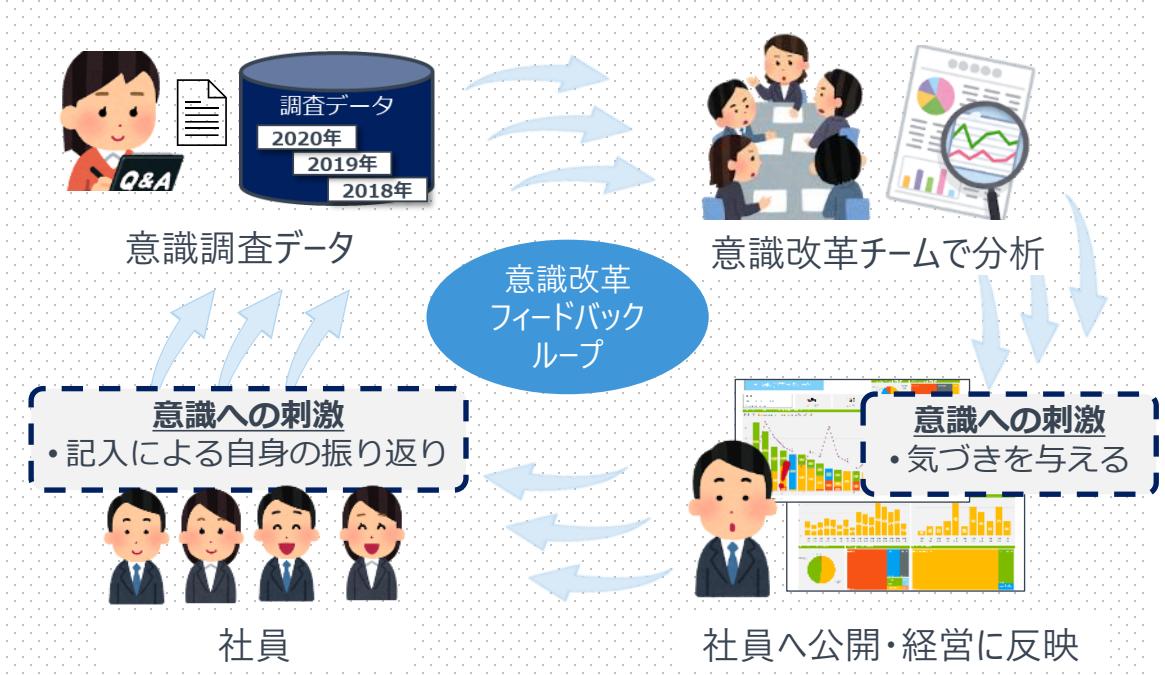
データを活用した社員意識改革



意識改革フィードバックループ ワークショップ

全社員の意識アンケート～分析～公開のループにより意識変革
ご興味がある方はMicrosoft営業担当まで

- 意識調査アンケート & 分析サンプルの提供
- 意識改革を促す社員へのデータ公開
- コンプライアンス機能と併用利用することで相乗効果。



業務アプリ内製化のご支援

業務のデジタル化が求められる背景と課題

■ リモートワーク



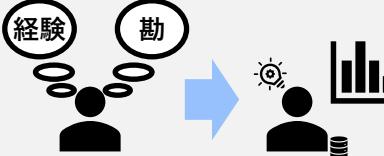
- ・紙を使わない電子申請・承認業務や、離れた人との共同作業が当たり前の世界になる

■ 業務効率化と変革



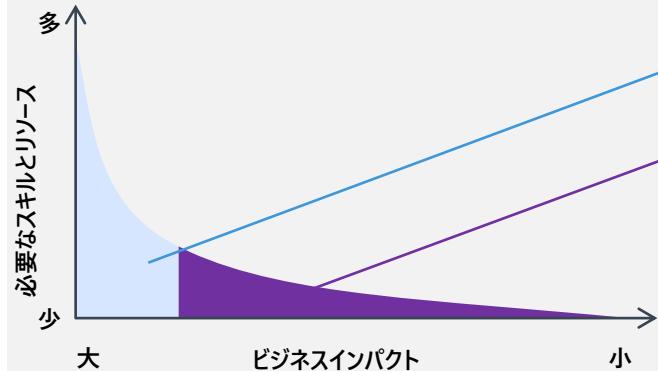
- ・クリエイティブな業務に工数投下するため業務の効率化・変革が求められるようになる

■ データ駆動型世界



- ・データは企業競争力の源泉になる
- ・データを蓄積するための入口として業務のデジタル化が加速する

しかしながら全てに投資ができるわけではない…



- ・ビジネスインパクトの大きいテーマは投資対象となりデジタル化が進むが…
- ・現場に散在する細かなテーマは投資対象となりづらい…

結果として
デジタル化に対応ができない

ローコードアプリの内製化をお試し！！



PowerAppsライセンス^{*1}と
ヘルプデスクサービス^{*2}をセットで提供

100万円/2カ月

*1 開発者30名、利用者200名分のライセンスを含む
*2 パートナー様によるFormsでの遠隔対応となります

■ こんな方におすすめ

- ・オンプレミスの基幹システムとの連携アプリを作成してみたい
- ・内製化に興味はあるが、使いこなせるかが不安
- ・まずは少人数で試しにアプリ開発して利用してみたい！

■ PowerAppsを用いた活動報告アプリ(作成例)



Power Apps
ローコードアプリ開発



Power Automate
ローコードでの
ワークフロー・自動化・RPA

※本オファリングは数量・期間に限りがございます、詳細は弊社営業までお問合せください(2021年1月時点)

Microsoft Technology Center



MTC/XICとは？

MTC/XIC (Cross Intelligence Center)は、Microsoftが提供するサービスの価値を最大限に引き出し、テクニカルな側面からお客様のビジネスに貢献するため最先端のソリューション、テクノロジーを紹介・体験頂くため、スピーカーである**エキスパートが持つ多様かつ専門的な知見を活かしたセッションを提供**します。お客様の様々な職位の方々に合わせ、わかりやすい、かつ参加型のセッションを行います。**ぜひご活用ください。**

セッションメニュー

人気の「ランサムウェア・ID攻撃～情報漏洩対策セッション」、「業務フローDXのアイデアソン」まで幅広く対応。



Workstyle
Innovation



IoT, AI, ML,
Data Plat



M365, BizApp
Holo, MR



Security / Compliance



Azure Infra Security



Zero Trust Security



Datacenter



Cloud Mindset



DX, DFL
クロスソリューション



DX, DF
アイデアソン

リモートでもOK

MTC/XIC (Cross Intelligence Center)はWeb会議での対応も受け付けております。



セッションをきっかけに

「セキュリティ・DX・ITコスト削減、どこから考えたらいいのか」
本セッションをきっかけに検討しませんか？



Microsoft Technology Centers

Microsoft 365 Security 概要セッションご紹介



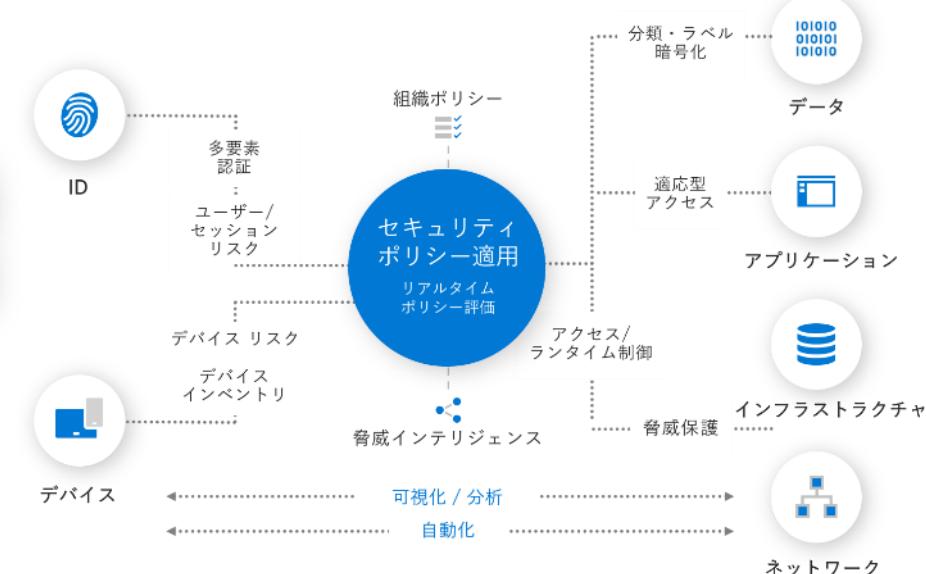
- 最新のセキュリティ脅威に対抗するマイクロソフトの全社アプローチ
- Microsoft 365 が提供する包括的なゼロトラストセキュリティ
- 情報漏洩等の内部リスク対策として強化されたコンプライアンスソリューションをご紹介するプライベートセミナーです。

具体的なソリューションを実画面をベースにご説明すると共に、マイクロソフト社内での活用事例についてもご紹介します。

ID & アクセス管理	脅威対策	情報保護	クラウドセキュリティ
Azure AD Premium <ul style="list-style-type: none">Azure AD Identity Governance	Microsoft 365 Defender <ul style="list-style-type: none">Microsoft Defender for EndpointMicrosoft Defender for Office 365Microsoft Defender for IdentityMicrosoft Cloud App Security	Microsoft Information Protection <ul style="list-style-type: none">Unified Labeling Client and On-premises ScannerMicrosoft Data Loss Prevention	Microsoft Cloud App Security
Microsoft Endpoint Manager	Insider Risk Management <ul style="list-style-type: none">Communication ComplianceMicrosoft Cloud App Security		

リモート会議で実施しますので、場所や人数に制限なく実施が可能です。
所要時間 90分程度（事前打ち合わせで調整）

Microsoft ゼロトラスト アーキテクチャ



脅威アセスメント

セキュリティリスク（脅威）の現状を把握する

無償

Microsoft

無償でお客様のセキュリティ脅威状況を可視化し、自動対処のベスト プラクティスをご提供いたします。

御社も標的にされているかもしれません…

日本のエンタープライズのお客様の約 7 割は未知のマルウェアによる標的型攻撃を受けています。

70%

IT 管理者や、セキュリティ担当者は 242 日も感染に気がつきません。

242日

Microsoft 365 E5 の多角的・脅威可視化サービス

メール

ID・データ

エンドポイント

1か月程度の期間で、実際の御社 Office 365 への標的型攻撃を可視化し、無償でアセスメントいたします。

標的型攻撃を Big Data と AI を活用するクラウドの特性を活かして、多角的な観点で可視化し、自動対処しませんか？

セキュリティ会社としてのマイクロソフト

マイクロソフトは地球規模の脅威情報をもち、地球規模でクラウド サービスを提供。

10 億台
PC の月次更新

10 億人
個人 & 企業でのクラウド ユーザー

\$10 億
年間のセキュリティ研究開発費

対策すべきセキュリティ脅威

さまざまな攻撃の手法に対し Microsoft 365 E5 でセキュリティ対策を一元化して自動対処。

脅威 1 クラウドストレージからファイルの大量ダウンロード
対策 1 Microsoft Cloud App Security
脅威 2 暴露した ID での不正ログイン
対策 2 Azure Active Directory P2
脅威 3 暴露した添付ファイル / フィッシングリンク付きのメール
対策 3 Office 365 ATP
脅威 4 暴露された内部情報
対策 4 Threat Intelligence
脅威 5 暴露されたエンドポイント
対策 5 Azure Information Protection
脅威 6 フィッシングサイトへの誘導
対策 6 Windows Defender ATP

こんな方にお勧め

- ・サイバー攻撃によるシステム侵入が気になる
- ・ID/Password漏洩が気になる



- ・未知ウイルス対策/ランサムウェア対策を実施したい



コンプライアンスアセスメント

情報漏洩対策・ハラスメント会話対策前にアセスメントで現状を把握する

無償

Microsoft

**無償でお客様の機密情報漏えいや
ハラスメント会話等の
内部不正リスクの実態を可視化します。**

コンプライアンス対策の「はじめの一歩」として内部不正リスク管理からはじませんか？
機密情報や個人情報の管理、流通およびハラスメント会話の実態を可視化させていただきます。

- ▶ 機密情報が外部へ共有、組織外へ流通されていないか？
- ▶ 機密情報が社内だれでもアクセスできる状態、組織外へ漏洩されていないか？など
- ▶ メール、チャットでハラスメント会話がされていないか？など

事故が起こる前に！御社でのコンプライアンス対策は十分ですか？

情報を取り扱う環境の変化により社内外でのリスクが急増

- クラウド活用による情報の分散
- 情報が漏えいした際の企業ブランドイメージの低下
- グローバルでの法規制の強化
- 2020年6月改正 ハラスメント防止法案施行

個人情報漏えいインシデント
一件当たり平均損害賠償額

→ **6億3,767万円**

出典：国土交通省「情報セキュリティ 10大要識別」と実被害の動向
1位 情報漏えいによる損害
2位 内部不正による情報漏えい
3位 ビズネスマール作成による被害
4位 サイバーティック攻撃による被害
5位 フラッシュドライブによる被害
6位 データ漏えいによる被害
7位 不適切による情報漏えい（秘密は漏洩）
8位 インターネットサービスからの個人情報の窃取
9位 IoT機器不正利用
10位 サービス妨害攻撃によるサービスの停止

コンプライアンス対応のはじめの一歩として、
内部不正を自動的に管理、対応する方法をご提案します。

対応すべき内部不正リスク

よくある法務、監査、人事部門の課題を可視化

1 保有する機密情報と共有状態

Office 365 +

2 機密情報の漏えい、ハラスメント会話

退職予定者、内部、ゲスト、外部 + 外部および内部、ゲスト

機密情報、ハラスメント用語の流通情報を分析

- ▶ 個人情報、機密情報ファイル点在状況
- ▶ ファイルの組織外、組織内への情報共有
- ▶ メール、添付ファイル、チャット、ファイル共有のやりとり
- ▶ 内部不正、情報漏えい、ハラスメントのリスク

こんな方にお勧め

- ・退職者情報漏洩を防ぎたい
- ・個人メールへの営業秘密の転送を防ぎたい



- ・ZIPメールをやめたい
- ・特別な部署の情報を守りたい
- ・顧客情報がある
- ・営業秘密情報がある

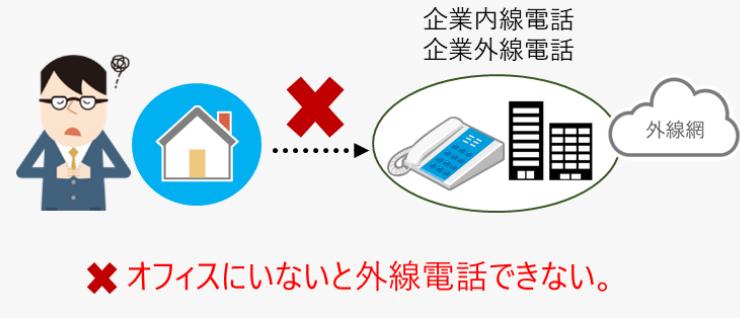


Microsoft Teams電話システムPoC



SoftBank社UniTalk 3か月無償キャンペーン実施中。
Max.100ユーザー, 2021年3月17日(水)までお申し込み分限定。

コロナ禍の企業電話のお悩み



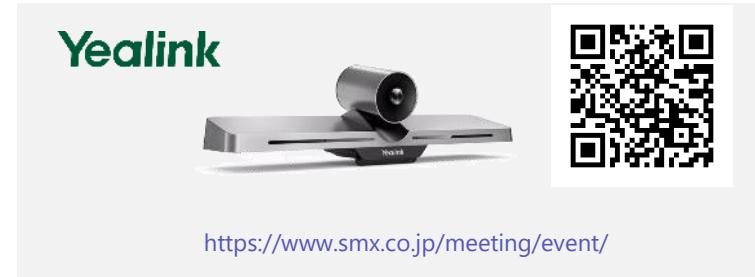
簡単！スピーディー！クラウド外線モデルのPoC

お使いのMicrosoft Teamsでどこでも外線電話をすぐご利用になれます。
既存番号の利用可能だからリモートワーク中に部署代表電話も応対可能。



"年度末・新年度開始に" 小規模投資で会議室改革

ハードウェアメーカー様 Microsoft Teams Rooms デバイス 評価機貸し出しプログラム



Microsoft Teams Rooms 評価ライセンス および PoC 作業費用支援プログラム



- FastTrack Room 申請要件
- ✓ 150 シート以上の Office 365 もしくは Microsoft 365 ライセンスを保有
 - ✓ お客様にて 2 台の Microsoft Teams Rooms ハードウェアを用意
 - ✓ お客様にて Microsoft Teams Rooms ライセンスを用意

"年度末・新年度開始に" 小規模投資から始めるSurfaceリモートワーク

現場作業員

店舗従業員

外回り販売員

お客様担当営業

オフィスワーカー

エンジニア
データアナリスト
クリエイター

エグゼクティブ

最軽量ハンディモデル

Surface Go (Wi-Fi / LTE)

最前線の働き方に、スマートな
イノベーションを創出したい人へ



ネットワーク	★★★★★	データ分析	★★★★★
モバイルワーク	★★★★★	手書き・描画	★★★★★
デザイン・制作	★★★★★	文書・資料作成	★★★★★

●画面サイズ 10 インチ ●インテル® Pentium® Gold プロセッサ搭載
●CPU 内蔵グラフィックス機能搭載

標準機モデル

Surface Laptop

ビジネスシーンを、
スタイリッシュに演出したい人へ



ネットワーク	★★★★★	データ分析	★★★★★
モバイルワーク	★★★★★	手書き・描画	★★★★★
デザイン・制作	★★★★★	文書・資料作成	★★★★★

●画面サイズ 13.5 インチ ●第 8 世代インテル® Core™ プロセッサ搭載
●CPU 内蔵グラフィックス機能搭載

プロ仕様モデル

Surface Studio

かつてない創造力と、
アイデアを実現する力を得たい人へ



ネットワーク	★★★★★	データ分析	★★★★★
モバイルワーク	★★★★★	手書き・描画	★★★★★
デザイン・制作	★★★★★	文書・資料作成	★★★★★

●画面サイズ 28 インチ ●第 7 世代インテル® Core™ プロセッサ搭載
●NVIDIA® GeForce® GTX 1070 搭載

最軽量ハンディモデル

多様なファーストラインワーカーの新たなフィールドを追求

標準機モデル

あらゆるオフィスワーカーの柔軟な働き方をサポート

プロ仕様モデル

全てのクリエイティブワーカーへ自由なスタイルを提供

標準機モデル

Surface Pro (Wi-Fi/LTE)

場所や時間に気にして、
オフィス同様の環境で仕事をしたい人へ



ネットワーク	★★★★★	データ分析	★★★★★
モバイルワーク	★★★★★	手書き・描画	★★★★★
デザイン・制作	★★★★★	文書・資料作成	★★★★★

●画面サイズ 12.3 インチ ●第 8 世代インテル® Core™ プロセッサ搭載
●CPU 内蔵グラフィックス機能搭載

プロ仕様モデル

Surface Book

ビジネスに、妥協なきパワーと
豊かな表現を求める人へ



ネットワーク	★★★★★	データ分析	★★★★★
モバイルワーク	★★★★★	手書き・描画	★★★★★
デザイン・制作	★★★★★	文書・資料作成	★★★★★

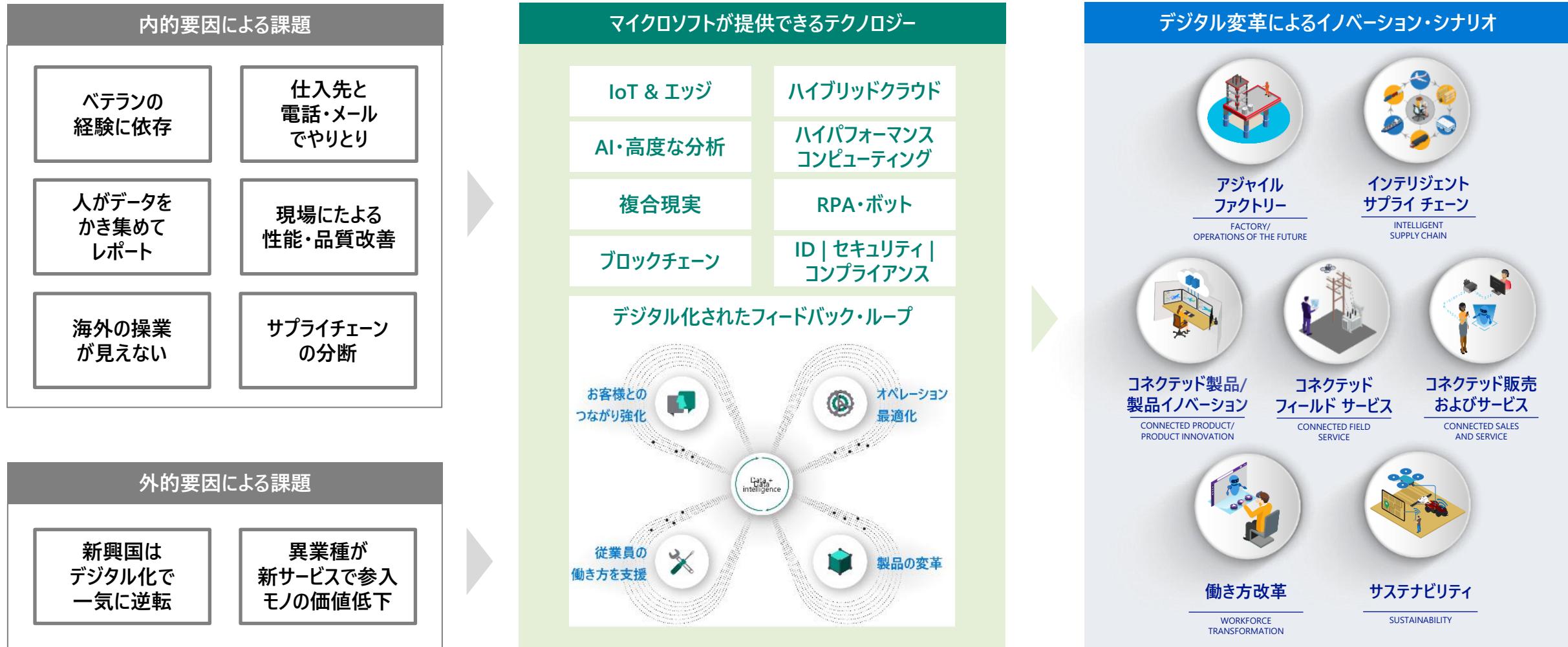
●画面サイズ 13.5 インチ / 15 インチ ●第 8 世代インテル® Core™ プロセッサ搭載
●NVIDIA® GeForce® GTX 1060 搭載

Appendix

製造業のお客様 計画イメージ

デジタル化によって変わる製造業の未来

直面しておられる課題に対する主なデジタル変革のシナリオ



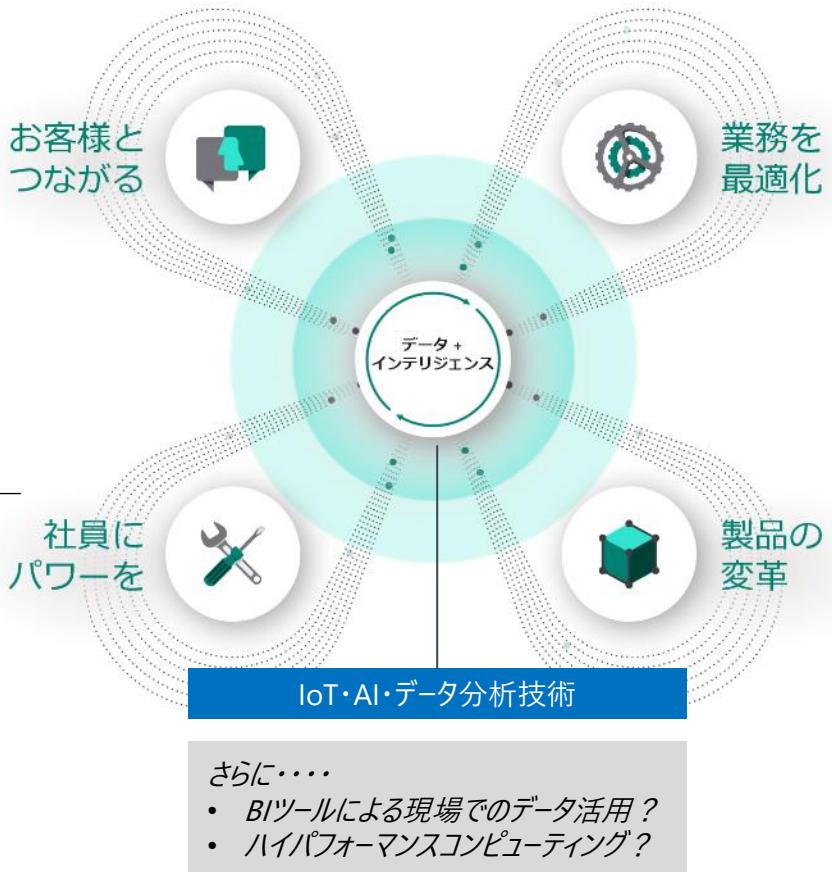
デジタル化推進重点分野と関連テーマ

営業現場のデジタル化

- ・顧客・案件情報共有
- ・オンライン商談・Webinarの活用

さらに……
・デジタルマーケティング?
・SFAによる営業の科学?
・Office 365との統合・連携?
・フィールドサービスとの一体化?
・MR・VRデバイスによる遠隔サポート?

デジタル フィードバック ループ



間接業務の見直し

- ・クラウド・RPAの活用
- ・事業所間接部門のリモート化

さらに……
・ロード開発ツールによるユーザー部門主導での業務のデジタル化推進?
・チャットボットの活用?
・業務プロセスの自動化?
・ファイナンス、人事でのAI活用?

ワークスタイル変革の推進

- ・Office 365の利活用推進
- ・組織階層間のコミュニケーション迅速化
- ・フレキシブルワークスタイル
(在宅勤務・フレックスタイム) の導入

さらに……
・組織のパフォーマンス分析?
・Teamsを全ての業務のHubに?
・Unified Communication?
・グローバルでの円滑なコラボレーション?
・工場現場でのデジタル活用?

ITによるデジタルビジネスの創出

- ・エネルギーインフラ事業のサービス化
- ・IoTシステム実証実験プロジェクト
- ・AI認識カメラ活用プロジェクト
- ・AIロボット・システムサービス

さらに……
・異業種とのコラボレーション?
・バリューチェーン全体の再構築?
・プロダクト・サービス共同開発?

基幹ネットワークの強化・マルチクラウド対応・セキュリティ強化

さらに…… IDベースのゼロトラストアーキテクチャー? マルチクラウドベースの効率的な運用管理? アプリケーションのモダナイゼーション? アジヤイル開発?

COVID-19の影響を踏まえたコスト削減 & DX

COVID-19による影響を踏まえての課題点

データ活用による工数削減

ビジネス観点	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍での不確実な時代にどのような状態になってもビジネスを止めないためにリモートの活用を促進しながら、社員・組織の状態を常に把握していく必要がある。
IT観点	<ul style="list-style-type: none">New Normal・リモートが前提となる働き方をベースとしたインフラ整備Best-breedから統合化することによるコスト効率

ビジネスプロセスの見直し/電子化

ビジネス観点	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍において働き方が変わる中でビジネスを止めないビジネス運営の在り方を考える必要がある
IT観点	<ul style="list-style-type: none">New Normal・リモートを前提としたビジネスプロセスの実現デジタルを利用した新しい仕事の仕方の実現

設備・運用コストの削減

ビジネス観点	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍においての劇的に投資の在り方について見直しより戦略的な分野に投資するためのコスト効率化
IT観点	<ul style="list-style-type: none">New Normal・リモートが前提となる働き方をベースとしたインフラ整備Best-breedから統合化することによるコスト効率

来年度IT計画 改革方針

● データドリブン経営へのシフト

データから社員・組織の関わり合い、組織の健全性を理解し経営に反映する、データドリブン経営のご支援

個人の働き方を見直せる

- 自分で自分の時間の使い方を理解できる
- 無意識の行動を可視化することで改善につなげる

組織の動きを可視化する

- 会話総量、組織間連携、時間のかけ方、すべてを感じではなくデータで理解することで正しい働き方組織戦略へ活かす

● デジタルを前提としたビジネスプロセス

現在のマニュアル作業の削減とデジタルを利用することによる新しいプロセスの気づきをご支援

マニュアル作業のデジタル化による効率化

- 紙での裏議を電子申請/ワークフロー化
- システム連携を行うことによる効率化

新しいプロセス改善の気づき

- すきま時間を活用
- 今の作業を効率化、よりよくするための気づきとプロセスのデジタル化

● コロナ禍における電話設備の見直し

普及しているTeamsをコミュニケーションコラボレーションハブとして位置づけ、電話サービスを統合

● コロナ禍におけるセキュリティ・コンプライアンス基盤の見直し

セキュリティ基盤見直しの再検討

- ゼロトラストにより利便性と安全性の両立 + コスト最適化
- 運用の自動化によるコスト削減

情報漏洩対策

- 退職者によるもの・個人メールあて情報漏洩をまず優先的に自動監査する体制・仕組みの確立

COVID-19の影響を踏まえたコスト削減 & DX

COVID-19による影響を踏まえての課題点

データ活用による工数削減

ビジネス観点	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍での不確実な時代にどのような状態になってもビジネスを止めないためにリモートの活用を促進しながら、社員・組織の状態を常に把握していく必要がある。
IT観点	<ul style="list-style-type: none">New Normal・リモートが前提となる働き方をベースとしたインフラ整備Best-breedから統合化することによるコスト効率

ビジネスプロセスの見直し/電子化

ビジネス観点	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍において働き方が変わる中でビジネスを止めないビジネス運営の在り方を考える必要がある
IT観点	<ul style="list-style-type: none">New Normal・リモートを前提としたビジネスプロセスの実現デジタルを利用した新しい仕事の仕方の実現

設備・運用コストの削減

ビジネス観点	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍においての劇的に投資の在り方について見直しより戦略的な分野に投資するためのコスト効率化
IT観点	<ul style="list-style-type: none">New Normal・リモートが前提となる働き方をベースとしたインフラ整備Best-breedから統合化することによるコスト効率

来年度IT計画 改革方針

● データドリブン経営へのシフト

データから社員・組織の関わり合い、組織の健全性を理解し経営に反映する、データドリブン経営のご支援

個人の働き方を見直せる

- 自分で自分の時間の使い方を理解できる
- 無意識の行動を可視化することで改善につなげる

組織の動きを可視化する

- 会話総量、組織間連携、時間のかけ方、すべてを感じではなくデータで理解することで正しい働き方組織戦略へ活かす

● デジタルを前提としたビジネスプロセス

現在のマニュアル作業の削減とデジタルを利用することによる新しいプロセスの気づきをご支援

マニュアル作業のデジタル化による効率化

- 紙での裏議を電子申請/ワークフロー化
- システム連携を行うことによる効率化

新しいプロセス改善の気づき

- すきま時間を活用
- 今の作業を効率化、よりよくするための気づきとプロセスのデジタル化

● コロナ禍における電話設備の見直し

普及しているTeamsをコミュニケーションコラボレーションハブとして位置づけ、電話サービスを統合

● コロナ禍におけるセキュリティ・コンプライアンス基盤の見直し

セキュリティ基盤見直しの再検討

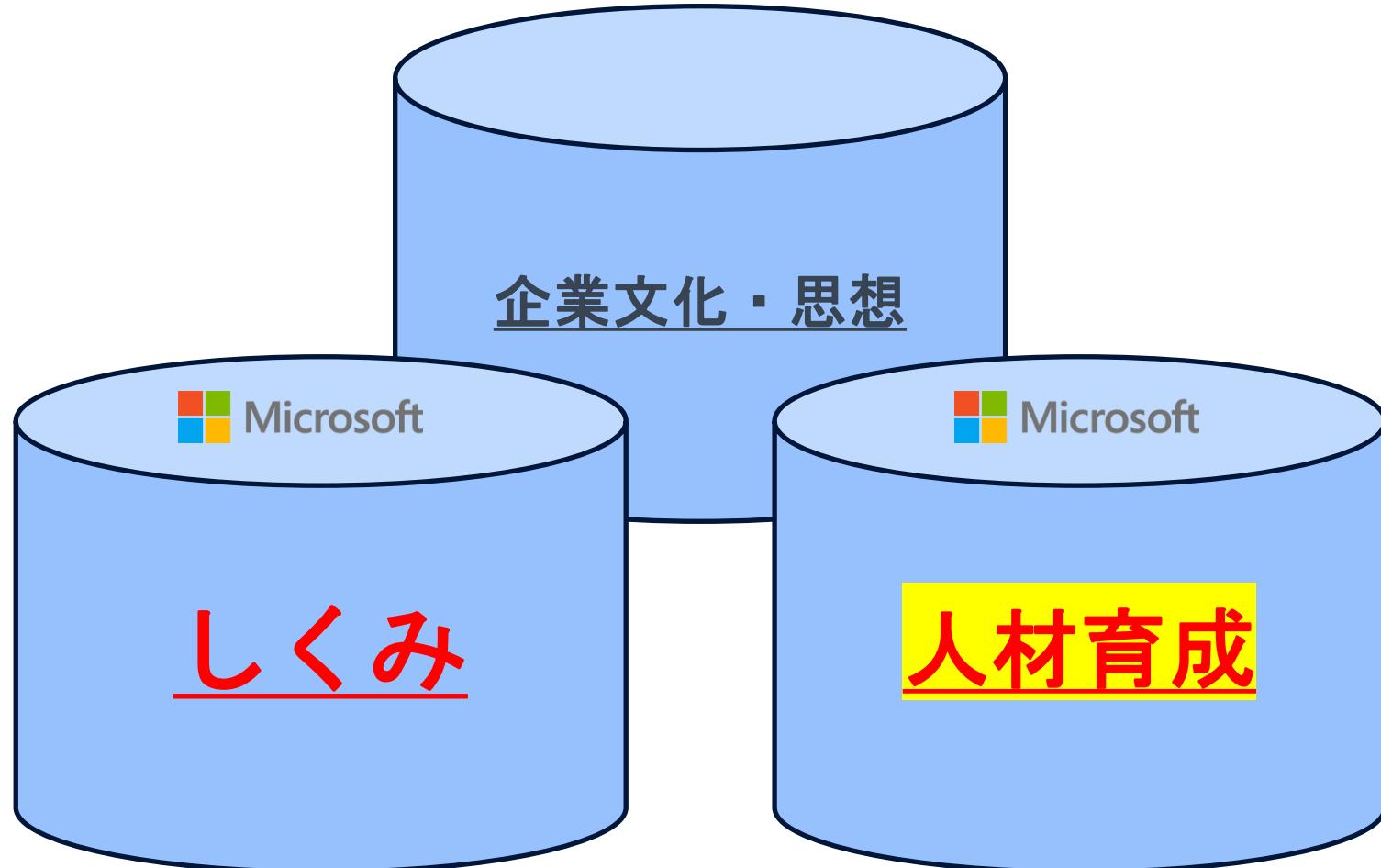
- ゼロトラストにより利便性と安全性の両立 + コスト最適化
- 運用の自動化によるコスト削減

情報漏洩対策

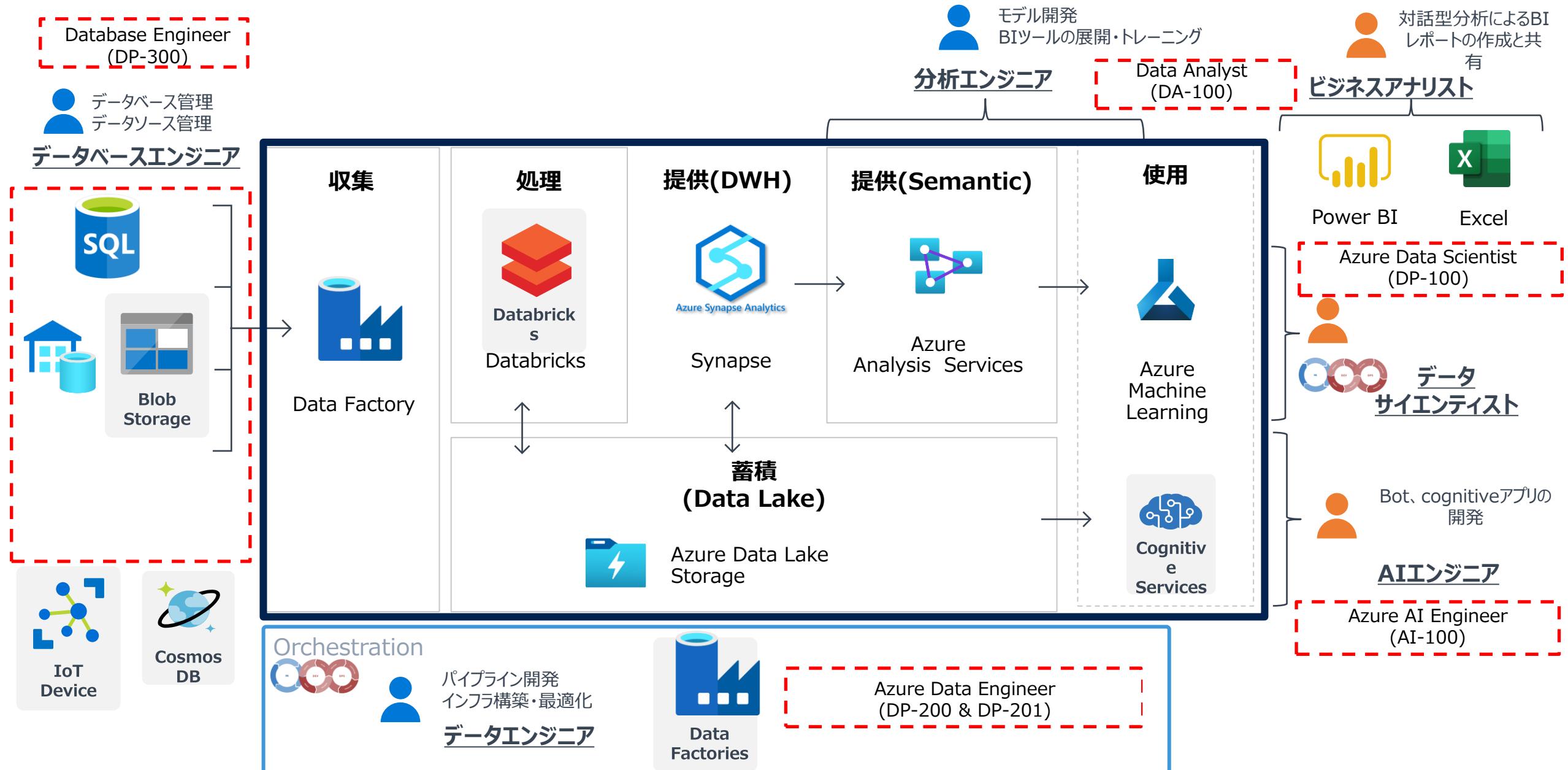
- 退職者によるもの・個人メールあて情報漏洩をまず優先的に自動監査する体制・仕組みの確立

最後に：
DXを進める上で最も大切なこと

Microsoftだからできること



Data Platform ラーニングパス一例



Learningカルチャーを根付かせるために

徹底的な可視化、デジタル化

Learning Portal Manager Dashboard

The screenshot displays the Microsoft SharePoint Learning Center interface. At the top, there's a navigation bar with the Microsoft logo, SharePoint link, and search bar. The main content area shows a green banner stating "Congratulations, you have completed all of your currently due required training. Nice work!" Below this, there are four cards: "Upcoming Required Training" (with a "Required Learning Path" card for "Business Program Manager" due Jun 2020), "Required Learning Path for Managers" (due Mar 2021), "Complete your Technical Skills Initiative (TSI) requirement" (available now), and "Preventing Harassment" (available Dec 2019). A sidebar on the left lists "Learning resources" and "Learning activities, including required training" (e.g., "Anti-corruption SBC: Products & Services" due Nov 2019). The central part of the page features a dashboard titled "Required Learning : Reports to Organization Perspective". It includes sections for "Learning", "Role", and "Completion Status". The "Completion Status" section shows a progress bar at 89% (0% to 100%). Below the dashboard is a table titled "Organization" listing employee details like Jean-Philippe Courtois, Ahmed Mazhari, and Akira Uchida. Another table titled "Learning Details" shows categories like Compliance, Culture, Manager, and various roles with their respective counts and completion percentages.

L2FullName	Employee Count	Required Course #	Required Courses Incomplete	Required Course Completion %	Est Course & Study per Learner
Jean-Philippe Courtois	1,139	14,549	1,561	89%	43.4
Ahmed Mazhari	1,139	14,549	1,561	89%	43.4
Hitoshi Yoshiida	1,139	14,549	1,561	89%	43.4
Akira Sakakibara	6	57	3	95%	23.6
Akiko Kyuba	1	8	0	100%	18.5
Ken Tamaru	1	9	0	100%	18.7
Shinji Chiba	1	8	0	100%	18.5
Shoji Kawano	1	9	2	78%	18.7
Tomoko Okada	1	8	0	100%	18.5
Akira Uchida	229	3,119	217	93%	28.1
Ajiko Ishikawa	1	14	0	100%	20.3

Learning Category	Employee Count	Required Course #	Required Courses Incomplete	Required Course Completion %	Est Course & Study per Learner
Compliance	1,143	8,409	694	92%	2.8
Culture	1,131	1,135	46	96%	0.5
Manager	137	314	68	78%	1.2
Professional/Role	749	1,303	357	73%	19.7
Accelerating Deals through Sta...	42	42	0	100%	0.4
Account Planning and Manage...	39	39	0	100%	0.3
ADE Role Fundamentals: Acco...	2	2	1	50%	0.3
ADE Role Fundamentals: Acco...	2	2	1	50%	0.2
ADE Role Fundamentals: Acco...	2	2	2	0%	0.1
ADE Role Fundamentals: Acco...	2	2	2	0%	0.2
ADE Role Fundamentals: Busin...	2	2	2	0%	0.1

Learning Day、コーチング、 コミュニティ



Microsoft